

阪神國道に於ける

アスファルト・ブロック鋪裝概要

阪神國道改築工事に於ては、神戸市に隣接し、市街地をなせる西灘村地内に、アスファルト・ブロック鋪裝を施行す。全線に涉りワレナイトピチユリック鋪裝を施行せるに、この區間丈ブロック鋪裝を施行したのは、一は國道の完成を急ぎし爲に、一は市街地をなせるこの部分の美觀を考慮せる爲であつて、この延長約 870 間總面積 7000 坪餘である。

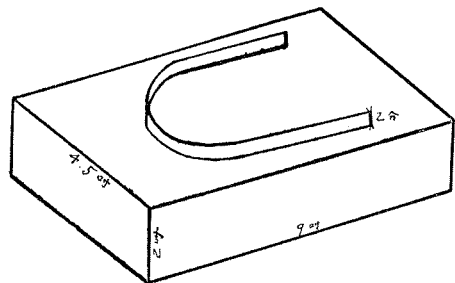
ブロックはロックアスファルト工業株式會社の製品にかゝり、之が施行も同社に請負はしめたるもので鋪裝費一坪當 16 圓とす。

ブロック施行部分の基礎は地盤軟弱なるため基礎コンクリート中に鐵筋網を敷設した。

コンクリートの伸縮目地は 10 間々隔に置き目地にはタードペーパー 2 枚を挿入し、之にブロンアスファルトを注入した。ブロックの

床にはセメントモルタルを使用し、此の上にブロックを鑿り合せ敷き詰め、目地はセメントを掃き込み三回乃至五回の撒水をなし、充分填充密着せしめた。

勾配の箇處はブロックの裏面に圖の如き馬蹄形の鐵具を取り付け滑りを防ぐ。



(1) 阪神國道西灘村地内(神戸の隣)にアスファルトブロック鋪裝工事中  
 (1) Asphalt Pavement Work going on at Nishinada Mura near Kobe.